

2022年12月14日 Vol.205

### 始まった師走のIPOラッシュ

今年を表す漢字が「戦」に決まったようですが、まさに戦いの日々。見えない敵とも言うべきコロナとの戦いが2年も続き、ウクライナ戦争勃発の年となった訳ですから、誰が考えてもこの1文字が脳裏に浮かぶことになります。先日開催されたワールドカップサッカーではいくつもの戦いを経て日本チームが決勝リーグに残り、多くの国民の興奮と感動をもたらしました。こうした中で日本の株式市場も売り方と買い方の戦いの日々が続き、気が付くともう師走半ばとなってきました。

12月1日のサイフーズ(4892)のIPO以来途絶えていた師走のIPOが昨日のproperty technologies(5527)から本格化。12月は1銘柄が取り消され29日のスマサポ(9342)まで25銘柄が上場予定。今年のIPO銘柄合計は91銘柄となりますが特に12月後半はラッシュ状態となり消化難となる恐れもありますが、この中にはユニークなビジネス展開を見せている成長銘柄も含まれていると見られます。IPO銘柄に関心をお寄せの投資家の皆様にとっては新たな戦いが始まることとなります。

本日は7年9カ月ぶりにグロース市場に再上場を果たしたスカイマーク(9204)が早くも公開価格1170円に対して8.7%上回る1272円で無事に離陸。コロナ禍後の観光客増加という短期的な収益拡大期待をポジティブに見る投資家の関心が高まっているようです。更に本日は環境関連、資源リサイクル事業を展開する大栄環境(9336)がプライム市場に上場。公開価格1350円を26.7%上回る1710円で取引を開始。その後も堅調な株価推移を見せるなど関心を呼んでいます。今週は15日にモビリティデータ活用サービスを提供するスマートドライブ(5137・G・公開価格1320円)、16日はワーキングデータプラットフォーム事業を展開するオープンワーク(5139・G・同3150円)、レンタルスペース予約プラットフォームを展開するRebase(5138・G・同920円)、飲食店向け生鮮食品Eコマースサービスを展開するフーディソン(7114・G・同2300円)の3社がIPOを予定しています。いずれも興味深いビジネスを展開しており、IPO後の初値形成、その後の株価変動への関心が高まるものと思われます。

こうしたIPOラッシュの中で取り残された感があるのが直近のIPO銘柄です。とりわけ9月から11月にかけてのIPO銘柄には事業内容や業績の影響と言うより換金売りによる株価下落が見出されます。忘れ去られようとする過去のIPO銘柄にもなかなかユニークな銘柄が存在するということを念頭に入れながら投資家の皆様には取り組まれてはどうか。IPO後の株価の低迷は投資家の理解が不足しているということもあります。10月7日に上場したラグジュアリーゴルフブランド「MARK&LONA」を展開するキューブ(7112)の株価は公開初値2190円から2か月足らずで4割近い下落を見せていますが、企業訪問する限りは成長指向の高収益企業との印象です。皆さんも一度吟味されてはいかがでしょうか。

(東京IPOコラムニスト 松尾範久)